

日本コラーージュ療法学会 ワークショップ - 2024 のご案内

本ワークショップでは、コラーージュ療法への理解を深めていただくため、午前と午後それぞれに1コースずつ選択し、計2コース受講していただく形式としました。皆様の積極的なご参加をお待ち致しております。

I ワorkshop概要

日時： 2024年 11月 3日（日） 10:00～16:30（受付開始 9:30）

会場： 京都テルサ（東館2階）

〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町70

アクセス ○JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分

○近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分

○地下鉄九条駅④番出口より西へ徒歩約5分

○市バス九条車庫南へすぐ

講師： (50音順・敬称略)

A 今田 雄三（鳴門教育大学）

B 加藤 大樹（金城学院大学）

C 森谷 寛之（京都文教大学・名誉教授／京都コラーージュ療法研究所）

D 大前 玲子（阪神 wara心理教育研究所）

E 安田 一之（大阪学院大学）

F 山上 榮子（森脇神経内科）

II ワorkshop参加の申し込み方法

<申し込み手続き>

スマートフォンまたはPCで申し込みフォームにアクセスし、回答をご入力ください。

フォームへの入力ができない場合はメールでお申込みください。

<https://forms.gle/9ah2xb2Xh8yhk2R89>

<申し込み締切日>

予約参加申込期限：2024年 9月 13日（金）

定員になり次第締め切ります。

参加の可否はメールでお知らせいたします。

* 申込終了時「申込受信した」旨を、入力なされたアドレスに事務局から自動送信します。

上記内容が受信されない場合、入力アドレスを確認して再度お手続きください。



WS参加申し込みフォーム

III 参加費

* 会員 一般：5,000円 大学院生：3,000円

* 非会員 一般：6,000円 大学院生：4,000円

* 懇親会 6,000円

9:30	10:00-12:30	12:30-14:00	14:00-16:30	17:30-19:30
受付	ワークショップ1 A, B, Cコース	昼休み	ワークショップ2 D, E, Fコース	懇親会

< 受講料の振り込みについて >

準備委員会から、参加の可否について連絡を受けてから、参加費の振り込みをお願いします。連絡の際に明記された期日までに、下記口座へお振込ください。

郵便局備付け用紙やネット振込も可。ただし払込人氏名と参加者名が一致するようにお願いします。振込みが確認できませんと受付が完了したことになりますのでご注意ください。第16回大会、ワークショップ、懇親会の参加費用を合算して申し込む場合は、合計額にお間違いがないかよく確認し、振込通信欄またはメールで合算した費目をお知らせください。

【 振込先 】

ゆうちょ銀行

口座番号： 00850-4-73295

加入者名： 日本コラーゲ療法学会大会準備委員会

* 他の金融機関からの振込用口座情報

金融機関名 ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900

店番 089 預金種目 当座

店名 ○八九 店 (ゼロハチキュウ店)

口座番号 0073295

IV コース概要

< 定員 > 各コース 35名

< 持ち物 > 制作実習のあるコースでは、指定された持ち物をご確認ください。

昼食は各自でご準備ください。

【ワークショップ 1】 次のA~Cコースから希望のコースを選んでください。

A コース 「簡易版MPC (マガジン・フォト・コラーゲ) の体験によるコラーゲ研修」

講師： 今田雄三 (鳴門教育大学 教授)

マガジン・フォト・コラーゲ (MPC) はアメリカのランドガーテンが提唱した、明確な枠組みと手順が設定された4つの課題に則ってコラーゲ制作を行い、制作者の連想を引き出し、アセスメントやセラピーに活用するための技法です。このワークショップでは、MPCによる心理的体験のエッセンスを担保しつつ大幅な簡易化を図った『簡易版MPC』の制作体験とシェアリングを小グループに分かれて行い、次に模擬事例でのMPC作品についてグループ検討を行い、最後に独自に考案した『コラーゲ療法体験セルフチェックリスト』を用いて各自の心的プロセスを振り返ることにより、短時間の研修でコラーゲ療法を体験的に理解することを目指したプログラムを実施します。このワークショップを通して、特にコラーゲ療法におけるセラピストの存在の意義と役割の重要さへの気づきが促されることを期待します。

準備するもの

台紙と写真の切り抜きはこちらで用意します。糊とはさみ、筆記用具をご持参下さい。

B コース 「コラージュ療法と論文執筆」

講師：加藤大樹（金城学院大学 教授）

修士論文などで、コラージュ療法をはじめとした芸術療法や投影描画法を研究テーマに選ばれる方も多くいると思います。また、ご自身の実践の成果を学会発表や論文の形でまとめてみたいと考えている方もいらっしゃると思います。本ワークショップでは、基礎研究を中心に、先行研究のレビューと目的の設定、研究計画の立て方、分析の選び方と考察のポイントなど、論文執筆のための基本的なスキルを学ぶことを目的とします。研究成果を正しく「伝える」ためにはどのような点に気をつければよいのか、実践的なワークを通して学び、修士論文・博士論文・投稿論文などの執筆に役立つスキルを身につける機会にしましょう。

C コース 「コラージュ制作（切り貼り遊び）体験と心理臨床実践理論を学ぶ」

講師：森谷寛之（京都コラージュ療法研究所）

心理臨床家には心理学の知識学習だけではなく、知識と体験が結びつくような学びが肝腎である。そのためには最初に何らかの形で無意識に触れる体験が求められる。無意識に開かれた経験のあるなしが他職種との本質的な違いであると言えよう。

「何も考えないで、心の赴くまま絵や写真を切り貼りして遊ぶ」コラージュ制作は無意識への接近法として意味深い。何ごととも体験と結びついた知識しか身につかない。WSでは制作体験と理論が結びつくような機会としたい。

準備するもの：身近にある雑誌やパンフレットなどで切り抜いてもよいものを2、3冊、及び糊とはさみを持参してほしい。

【ワークショップ 2】 次のD～Fコースから希望のコースを選んでください。

D コース 「コラージュ療法に認知物語療法（あるいは認知物語アプローチ）の技法を導入する」

講師：大前玲子（阪神 wara心理教育研究所）

事例提供：松田正子（六本木カウンセリングルーム

ソフィ心理研究所）

認知物語療法は大前が2006年から認知療法とコラージュや箱庭などのイメージ表現療法の統合的な認知物語アプローチとして考案しました。

作品を完成してもその意味がわからない、言葉ではThにうまく説明できないと悩むC1が多くいます。本法はコラージュ作品の意味をより理解するための方法です。特徴は、認知物語療法を導入することによって、C1が自分自身で自分の心理的課題を見つけることが容易になり、C1はThと作品をより深く味わい、自己洞察を深めていけるでしょう。この方法はコラージュ療法だけでなくアセスメント法としてより広く活用できるでしょう。

本WSでは本法の成り立ちや基礎理論を大前が解説し、松田正子先生から提供いただいた臨床場面での活用事例を紹介します。言語化ができないあるいはイメージが膨らまなかったC1に対して、認知物語アプローチ（認知物語療法の一部）を導入し、作品理解に役立つ経験を紹介します。事例を通して皆さんといっしょに検討したいと思っています。

E コース 「コラージュ作品を通して人間の深層意識を考える」

講師：安田一之（大阪学院大学名誉教授）

本ワークショップではコラージュ療法での作品を参加者に見て頂き、感じたことを自由に話して頂こうと考えています。作品は『コラージュ療法のすすめ(金剛出版 2023)』pp120-128に掲載されている3作品(「癌と診断されて」・「わき出た死後のイメージ」・「肺手術のあとで」)です。この3作品を検討して、誰しも逃れることのできない「病・死・にまつわる」コラージュ療法表現の可能性を探っていきたいと考えています。当日はパワーポイントで作品を拡大してご覧いただく予定です。参加者の臨床経験や人生経験から感じられたことを自由にお話して頂ければ幸いです。

F コース 「多次的なコラージュ理解」

講師：山上榮子（森脇神経内科）

さまざまな現場でコラージュ表現が提示された時、私たち受け手はどのように理解しようとするのでしょうか？ともすれば完成された作品解釈だけに腐心していないかと、自戒を込めて思います。コラージュは制作者だけが作り上げたものではなく、制作の場や見守り手との関係性の中で表現されるものです。さらに、制作者自身も個を超えた集合としてのバックグラウンドを背負ってそこにいます。本ワークショップでは、ローカライゼーション(地元化)の視点を取り入れた上で、制作過程で生じる感情も含めた、多次的で包括的なコラージュ理解を体験していただきます。

【制作実習あり】のり、はさみ、写真素材等を持参してください。

V 受講資格

ワークショップの参加には、原則として日本コラージュ療法学会会員であることが必要です。ただし、非学会員でも臨床心理士・公認心理師の有資格者、臨床心理学を学んでいる大学院生、心理臨床・医療・教育・福祉・産業・司法(矯正)領域等で対人援助職に従事されている方は参加可能です。

< 臨床心理士資格更新ポイントについて >

臨床心理士研修ポイントを申請するためには、午前と午後のワークショップに参加申し込みが必要です。午前午後の両方へ参加された場合に研修ポイントを資格認定協会への申請を予定いたしております。(「日本臨床心理士資格認定協会が認める臨床心理学に関するワークショップまたは研修会」の分野に申請予定)

< 第16回大会・ワークショップに関する連絡先 >

E-mail : collage.conference@gmail.com

〒840-0806 佐賀県佐賀市神園3丁目 18-15 西九州大学 西村研究室内

日本コラージュ療法学会 第16回大会準備委員会